

都知事選挙立候補予定者への「都道問題に関する公開アンケート」回答

1. 地元市民の合意形成が不十分であるなど、小平3・3・8号線を含む都道の建設は、多くの問題を抱えていることを知っていますか。（1か2を選択）

小池あきら ① 知っている

ドクター中松 ① 知っている

2. 都道小平3・3・8号線計画は今後どうすべきだと思いますか？

小池あきら ③ 中断して、住民の意見を聞く

ドクター中松 ③ 中断して、住民の意見を聞く

3. 小平3・3・8号線など、東京都の都市計画道路の多くは、約50年前に都市計画決定され、その後、住民の意見を十分考慮して見直すことなく、計画決定を根拠に建設しようとすることに無理があると思われます。さらに、そのような都市計画の改正等について話し合い、決定する東京都の都市計画審議会は、東京都が選んだ数十名の委員による年に数度の開催で、十分な審議を経ないまま膨大な量の案件について決定する形式的な場となっています。あなたが都知事になったら、このような都市計画決定のあり方を改善しますか？

小池あきら ① 改善する

ドクター中松 ① 改善する

都知事選挙立候補予定者への「都道問題に関する公開アンケート」回答

4. 東京都の環境影響評価条例は、評価対象の案件に関して、都民の意見を募る手続きは定めていますが、それらの意見を、対象事業の中止も含めて反映するようになっておらず、募った意見を羅列するにとどまっています。あなたが都知事になったら、環境影響評価条例は、評価対象事業の中止も含め、都民の意見を実際の事業内容に反映できるようなものに改正しますか？

小池あきら ① 改正する

ドクター中松 ① 改善する

5. あなたが都知事になったら、東京都の担当者が、都道小平3・3・8号線計画の現地に出向いて市民に説明し、意見を聞き、専門家も交えて行政および市民間で話し合い、そこでの意見を計画に反映するようなラウンドテーブルの場を設定しますか？

小池あきら ① 設定する

ドクター中松 ① 設定する

都知事選挙立候補予定者への「都道問題に関する公開アンケート」回答

6. あなたが都知事になったら、東京都の道路行政をどのようなものにしたいか、ご自由にお書きください。（400字まで）

小池あきら

環境を破壊し、車優先社会を促進する三環状道路や大型幹線道路の建設、半世紀以上前に計画され、住民生活破壊につながる都市計画道路は中止し、住民の皆さんから厳しい批判が出されている多摩地域都市計画整備方針を抜本的に見直します。

道路、橋梁など公共事業は、人口密集地の東京の防災を考え、都民のいのちや安全を最優先した地域密着型ですすすめます。地域の生活道路、自転車専用道路、障害者やお年寄りの安全な福祉道路の整備を住民参加ですすすめます。

道路行政をはじめ、すべての公共事業は関係住民と都民の参加を保障し、納得と合意を得るようなルールとシステムをつくりすすめます。

大規模開発優先・超過密都市推進の石原都政を転換し、「いのちを守る福祉・防災都市東京」の実現のために都知事として全力をあげる決意です。

ドクター中松

約50年前に決定された道路は、本当に必要とされているものなのか？

国史跡多摩川浄水と緑道を分断し、雑木林の大半を削るという計画そのものの必然性がそもそも疑問です。私が都知事になったら即刻中断し、見直します。

そして現在の車両通行量を調査し、地元の住民の意見を十分に考慮することをお約束します。

住民の皆さんがどんな町で暮らしたいのか？次の世代にどんな環境を残したいのかをじっくり話し合うことが必要です。道路は住民の皆さんの人と人の暮らしをつなぐためにあるものです。地元に出向き、現場を見て、地域住民に説明し、その意見を聞こうという姿勢がない東京都の担当者は、不適格です。

また、今回の地震・原発事故で都内の交通がマヒし、渋滞を起こしているのは緊急時のことを考えないで、道路行政を行っていたからです。

次の地震が近いので至急災害に対応出来る道路を作ることが急務です。